

大分県における次世代モビリティサービスの 現状と課題について

<目次>

1. 大分県の公共交通を取り巻く現状
2. これまでの取り組み経緯と実績
3. 今年度の取り組み方針(案)
4. 今後のスケジュール(案)

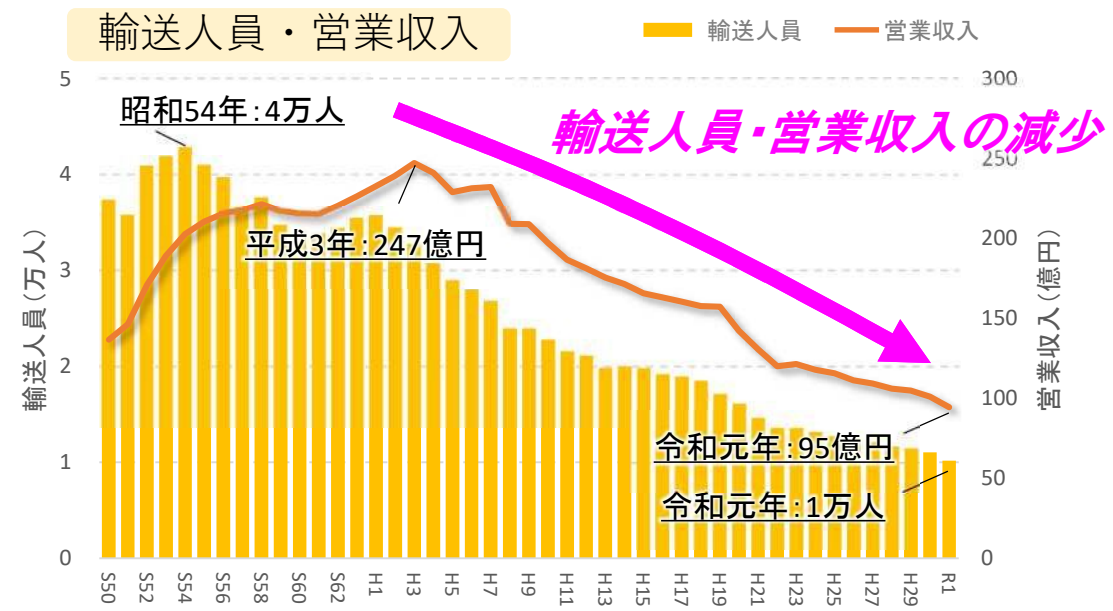
令和4年9月1日

検討会事務局

1. 大分県の公共交通を取り巻く現状

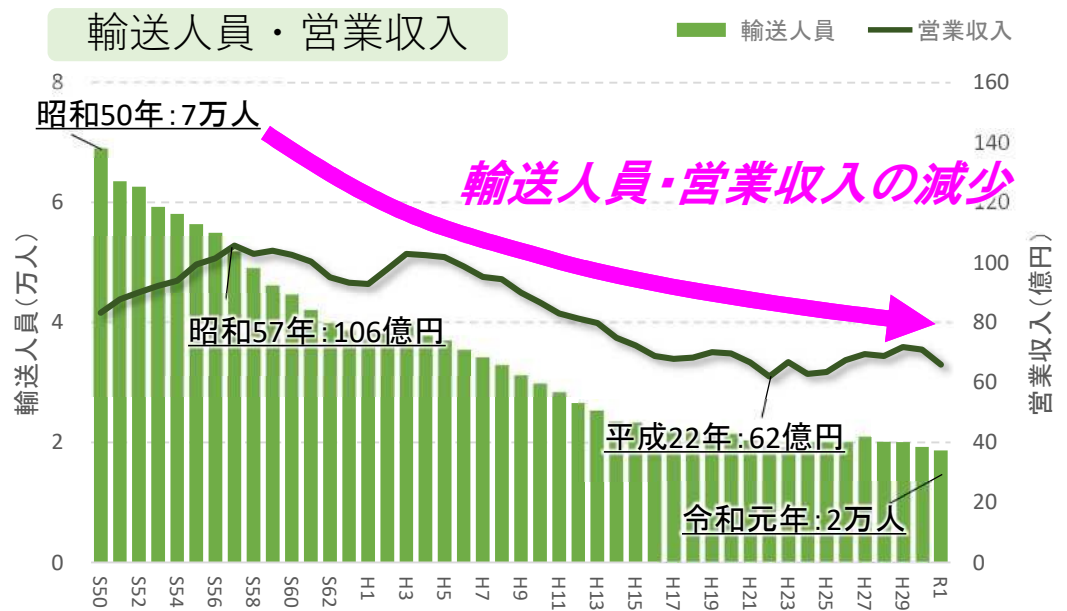
- ◆タクシー・バスの輸送人員が減少し、それに伴い営業収入も減少
- ◆担い手不足や運行本数の減便による営業距離の減少など、地域交通の維持が課題

< 県内における **タクシー** の現状 >



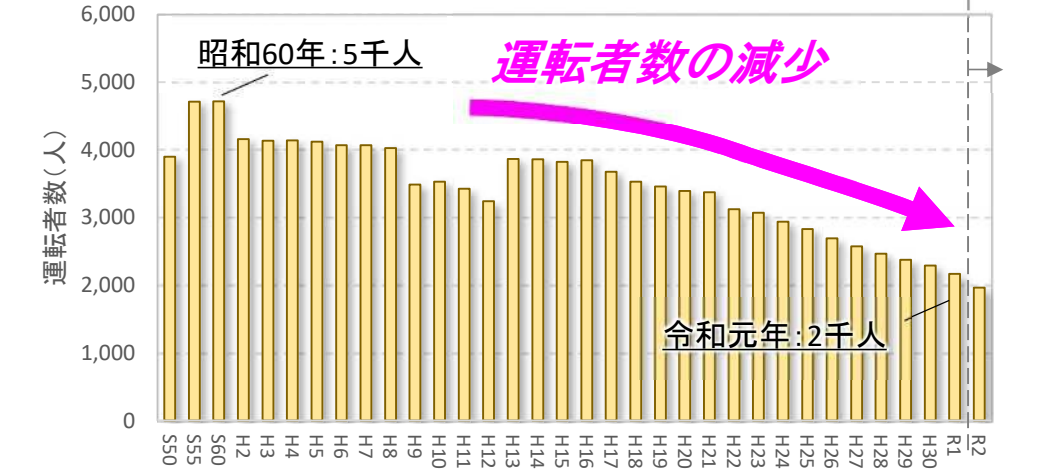
資料: 大分県統計年鑑(昭和36年～令和元年)

< 県内における **バス** の現状 >



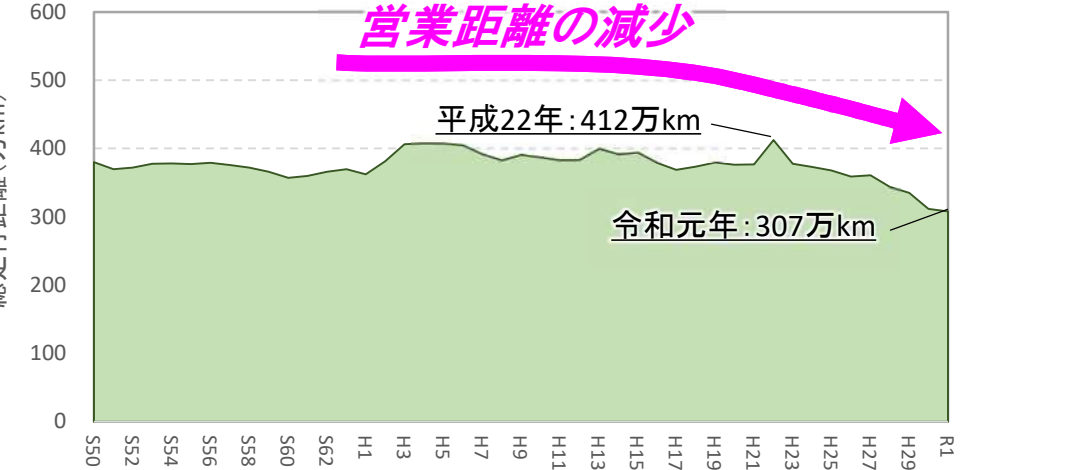
資料: 大分県統計年鑑(昭和36年～令和元年)

運転者数 新型コロナウイルスのまん延



資料: 九州運輸局 九州管内営業区域別タクシー輸送実績

営業距離 ※営業距離: 総走行距離



資料: 大分県統計年鑑(昭和36年～令和元年)

2. これまでの取り組み経緯と実績

- ◆ 令和元年度に検討会を立ち上げ、各分野の代表と県内の移動課題について意見交換を実施
- ◆ これまでに、課題解決に向けた6つの実証実験を実施

<これまでの移動課題と実証実験>

ラストワンマイル

電動キックボードシェアリング



- 気軽に乗れる
- 寄り道ができる
- 時間に捉われない

高齢者の見守り

ワンボタンでのタクシー配車



- 手軽にタクシーを呼べる
- 駆けつけてくれる安心感
- 潜在需要の掘り起こし

観光地の渋滞緩和

観光地でのパーク&ライド



- 移動自体が観光コンテンツに
- 郊外の魅力を発見できた
- 混雑なく駐車できる

高齢者の移動手段

デマンドバス配車へのAI活用



- 自動で配車計画
- 運転に集中できる
- 運行実績データ化

事業者のデジタル化

バス事業者のデジタル化支援



- 独自アプリ不要
- デジタルチケット化促進
- 社員のDX化意識醸成

施設送迎効率化

通所送迎の効率化



- 送迎計画を自動作成
- 急な変更にも対応
- 利用者に着時間を通知

2. これまでの取り組み経緯と実績

- ◆ 令和2、3年度では、IoTPushButtonを用いた「ワンボタンでのタクシー配車」を実証
- ◆ 利用者にボタンを押していただくだけで、事業者が配車から迎車を実施

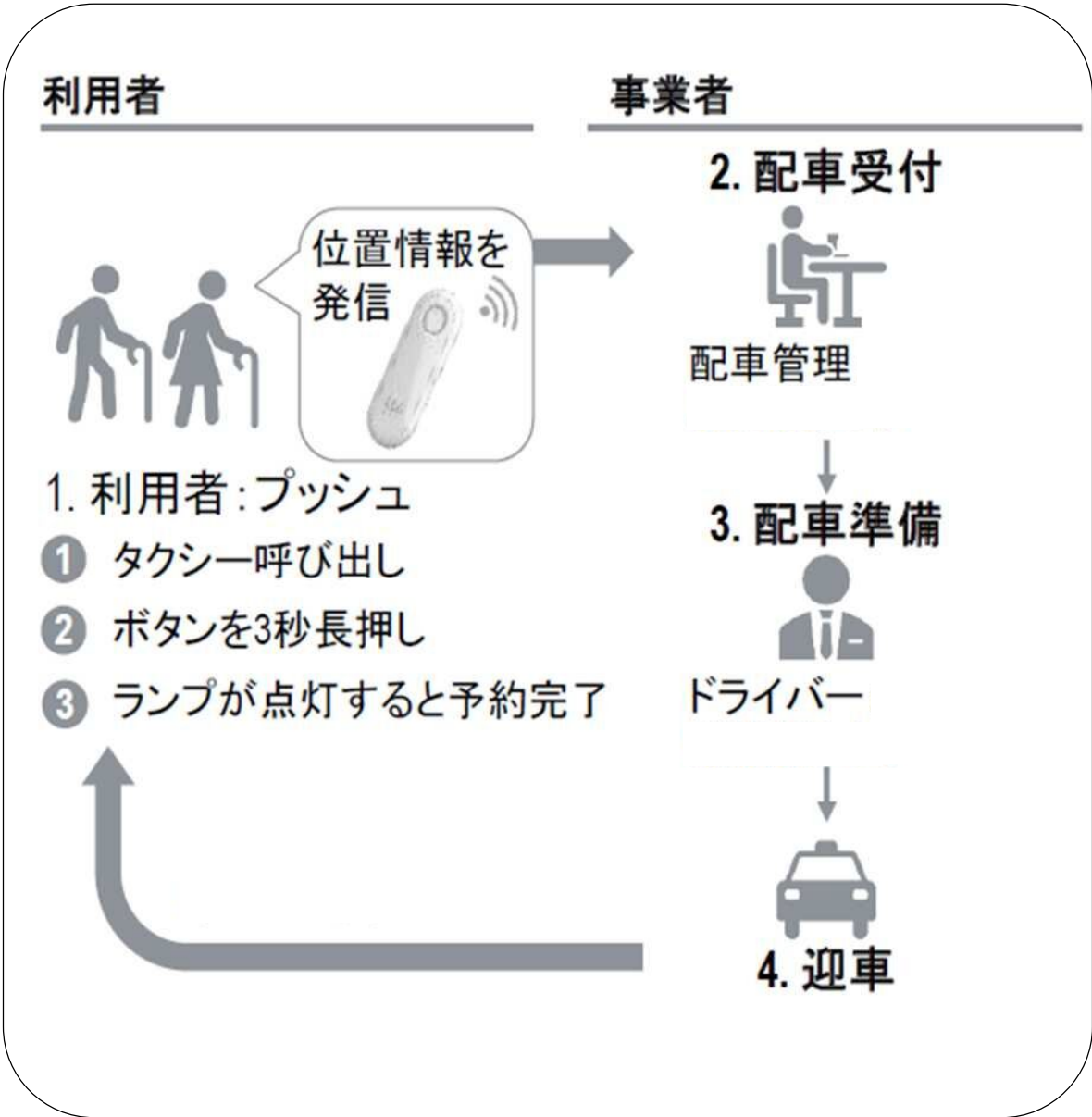
<ワンボタンでのタクシー配車の概要>

【令和2年度(対象者:5名)】
大分市野津原地区での無償実証を実施

【令和3年度(対象者:12名)】
竹田市明治地区での有償実証を実施



※令和3年2月15日放映

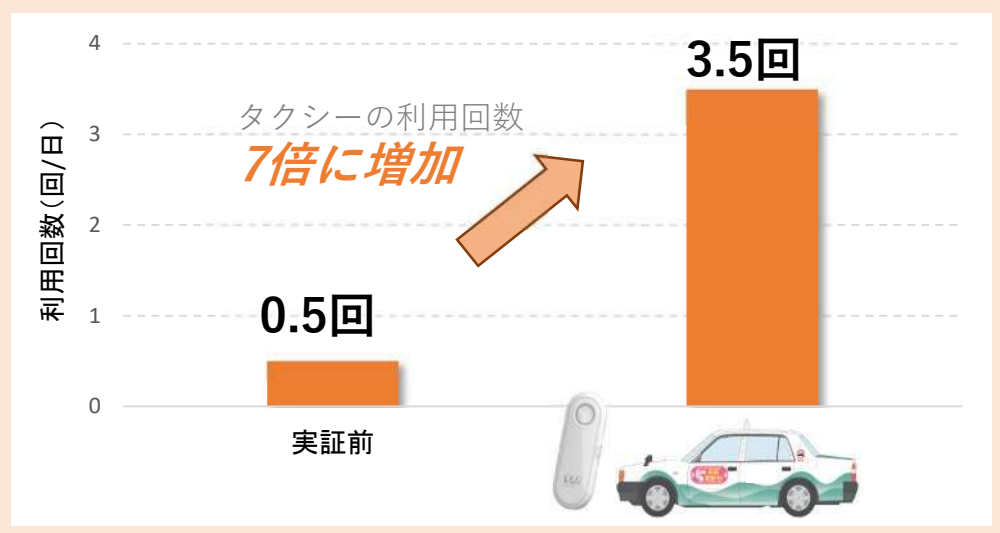


2. これまでの取り組み経緯と実績

- ◆ 実証実験の効果として、移動需要の喚起や見守りサービス機能を確認(無償時)
- ◆ 一方課題として、有償では移動が増えないことも分かり、マネタイズ(収益化)の重要性を確認

< 実証実験の**効果** > ※無償時 (対象者: 5名)

移動需要の喚起や見守りサービス機能を確認



- 簡単にタクシーを呼べるため外出が増えた
 - 見守りサービスの可能性はあると思う
-

< 実証実験の**課題** > ※有償時 (対象者: 12名)

収益面・機能面も含めたビジネスモデルの検討が必要

- [収益面]
 - 有償では移動が増えることはなかった
 - [機能面]
 - タクシーがいつ来るか不安になった
-

- 移動課題の解決に向けた可能性を確認
- **サービスの維持・持続性について検討が必要**
- 『特にマネタイズ(収益化)が重要』**

2. これまでの取り組み経緯と実績

◆ 初年度(令和元年度)の取りまとめにおいて、3つの目指すべき方向性を設定

< 目指すべき方向性 >

① 持続的な次世代モビリティサービス

…関係者が互いにメリットを享受できる（利用者、交通事業者・サービス提供者、行政等）

② 実証を通じた実例の提供

…サービスの導入を促す、移動データの取得・活用につなげる

③ 新たな価値の創出

…移動課題の解決に留まらない
移動に付加価値を与え、地域活性化等につなげる

3. 今年度の取り組み方針(案)

- ◆ 「移動」×「サービス(非移動)」による新たな価値、収益を得る仕組みを構築できる
取り組みを実施

取組みの維持には

マネタイズ (収益化)

が重要

マネタイズに向けた視点

移動の円滑化・効率化だけでなく、

「移動」 × 「サービス」
(非移動)

による新たな価値、収益を得る仕組みを構築

4. 今後のスケジュール(案)

◆ 今年度の検討会の開催時期、議題(案)は以下を想定している

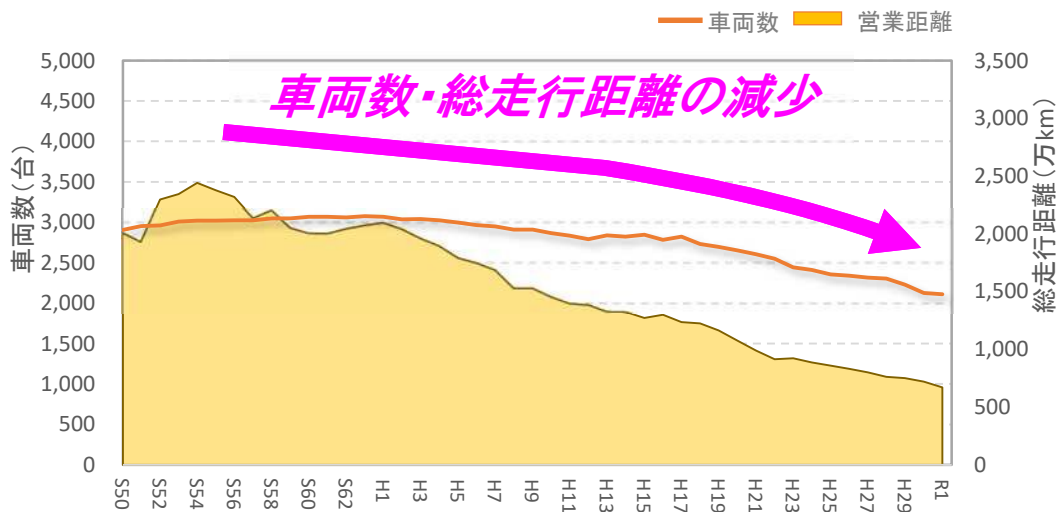
項目	開催時期	議題内容(案)
第1回検討会 【本日】	9月1日	<ul style="list-style-type: none">➤ 大分県内の移動にかかる課題等の整理➤ 令和4年度実証実験テーマ設定・実施内容(案)
第2回検討会	12月中旬	<ul style="list-style-type: none">➤ 令和4年度実証実験の進捗報告➤ 全国の次世代モビリティサービスに係る情報提供
第3回検討会	3月上旬	<ul style="list-style-type: none">➤ 令和4年度実証実験の結果・実装に向けた検討➤ 令和5年度の取り組み内容(案)

参考：大分県の公共交通を取り巻く現状

◆ タクシー・バスにおける車両数・総走行距離が減少

< 県内における **タクシー** の現状 >

車両数・営業距離

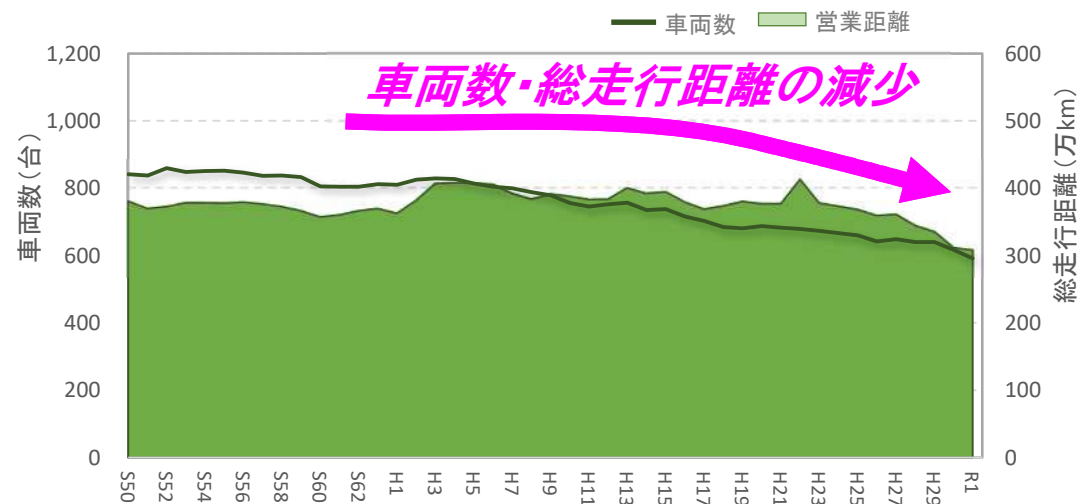


資料：大分県統計年鑑(昭和36年～令和元年)

※営業距離：総走行距離

< 県内における **バス** の現状 >

車両数・営業距離



資料：大分県統計年鑑(昭和36年～令和元年)

※営業距離：総走行距離